

かげ！ いろ！ 重ねてみよう！

作成日：2025年11月19日

対象児：4歳さくら組

作成者：吉岡愛佳

ねらい：光（太陽）で影や色が写ることを楽しむ。



～振り返り～

12月の壁面はクリスマスを題にした製作を行った。サンタクロースの袋の中身は、カラーセロハンを透明セロハンに貼り、裏側からも表からも見えるように作った。

朝の時間、みんなが製作した袋の中身を私が画用紙に貼り付けていると、カラー塞ロハンが床に透けて色が映っていることに気付いた子が「わあきれい！」「透けとる！」と嬉しそうに言葉にする姿があった。次の日には影を使っての劇「角笛シルエット」を観劇する予定があったので、この機会に陰に触れられたらいいなと思い、12月の壁面をそれぞれ持って園庭に出た。

靴箱の壁や地面に色が映ることに「きれい！」と目を輝かせたり、「壁の色、青だとどうなるかな？」「ここにも映った！と楽しむ姿があった。壁や地面などにも映るが自分自身に、色が映ることも楽しんで欲しいなと思い「服はどう？」と声をかけてみたところ「〇〇の服綺麗！」「先生の服貸して！」と色々なところに画用紙を持って行き、光遊びを楽しんだ。始めは、全員が自分の画用紙を持ち、遊んでいたが時間が経つと、お互いに協力して服に写して楽しむ姿がありました。また、「先生来て！見て！」と呼ばれ、呼ばれた方へ行ってみると自分の画用紙とお友達の画用紙を重ねて「色が増えた！」と発見して喜ぶ姿も見られた。

終わった後にも「楽しかった」「綺麗だった」という声があり、その日の絵本の時間は、影についての絵本を読み聞かせした。日常にはいろんな影があり、手で鳥やカニ、カタツムリの影も作れることを知り、「どうやってやるん？」「出来た！」と影に興味が見られた。

次の日、自由遊びの時間には手で影を作って遊ぶ姿があり、角笛シルエットの時にも「昨日したね！」と手で猫や鳥を作り、影や光を十分に楽しんだ2日間だった。これからも様々な自然や季節のものに触れられたらいいなと思う。

(協同性、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、豊かな感性と表現)